

第2回金沢大学環日本海域環境研究センター連携部門
国際テーマシンポジウム

近現代における環日本海域の

農村社会環境の特質



急速な工業発展を成し遂げ、アメリカに次ぐ世界第2位の経済大国となった中国は、急速な経済発展の代償ともいえる深刻な環境汚染問題や社会問題とに直面し苦悩しています。このような中国の急速な工業発展を支えた近現代農村の社会環境がどのようなものだったのかをこのシンポジウムでは再検討し、その比較として同じ時代の日本の農村社会を取り上げます。さらに、工業発展の負の側面であり、日本への越境汚染が懸念されている中国の大気汚染の深刻な現状とその健康影響の話題も提供します。

<プログラム>

塚脇真二：近現代における環日本海域の農村社会環境の特質：主旨説明

小林信介：近現代化過程における日本農村の変容

弁納才一：民国期山東省農村経済の変容

毛 来霊：新型農村合作医療—中国農村の医療体制について—

張 文明：上海における農村部と都市部の文化消費格差に関する研究

田中比呂志：村落档案史料からみた集団化時期中国山西省の宗教政策

古泉達矢：イギリスによる第一次世界大戦期の華人労働者送出について

魏 永杰：中国の都市化の過程における大気汚染

郭 新彪：中国における微粒子状物質汚染の健康影響



日時：2018年2月23日(金), 午前9時開場(予約不要)

場所：金沢大学サテライトプラザ(金沢市西町三番丁16番地)

問合せ：金沢大学環日本海域環境研究センター事務室

電子メール：kannihon-jimu@ml.kanazawa-u.ac.jp

電話：076-234-6961